

## ブラジル火災 続報 - 西日本防災システム

2013 01 30

ブラジル・サンタマリアのナイトクラブで27日に発生し客など計235人が死亡した大規模火災で、地元警察は30日、逮捕されていたクラブの共同経営者の容疑者1人が収容先の病院で**自殺未遂**を図ったと発表しました。

警察が監視して入院中の病院のシャワー室での未遂事件で、シャワーのホースを外して窓にかけ、片方の端部分を首に巻き付けようとした際、警官が発見し阻止したようです。容疑者は火災で煙を吸い込み病院で手当を受けていました。入院以降、激しい感情的な動揺を見せていたようです。

この火災ではクラブ「キス」の経営者や出演していたバンドのボーカル担当、ショーのプロデューサーら4人がすでに逮捕されています。

警察は出火原因について、バンドが野外だけでの使用が認められている安価な花火を使ったところ天井に引火し、火の手がたちまち広がったことを突き止めているようです。クラブ内には出火当時、バンドのショーを見るため定員をはるかに超える客ら約2000人が詰め掛けていたそうです。報道によりますと、クラブで演奏していたバンドがこの花火のような物を使ったショーを行った際、火花が遮音材に引火したようです。火災で発生した煙を吸い込んだり、逃げる際に押しつぶされたりして、窒息した人が多かったとみられています。

火災発生に伴い店内はパニック状態になったそうです。大勢の客が出口に殺到し、適切に避難できなかったことも被害の拡大につながった要因です。

保健衛生当局によると、火災の負傷者約82人が入院中で集中治療を受けていますが、75人が依然重体となっているようです。



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

